

東京都の発言要旨

【地方創生について】

＜舛添知事＞

- ・東京も1つの地方である。東京と他の道府県との対立図式を国は作りたがるが、東京も法人二税に頼る財政構造であり、景気が悪くなると打撃を受ける。ゼロサムゲームで、東京が良くなって他の県がダメという構造ではなく、Win-Winで東京と地方が伸びていくことを考えていくことが大切だと思う。東京は機関車役で走っているが、あと機関車4、5両、一緒に引っ張ってくれる県をお願いしたい。

【地方税財政について】

＜舛添知事＞

- ・東京は標準税率を超えた超過税率を課しているが、これについて、国が指図をしてくることは方向性が非常に間違っている。法人事業税の暫定措置（地方法人特別税）は3年と言っておきながら、7年続いているがこれは異常である。廃止してもらおう。地方法人税についても撤廃すべきである。

【2020年東京オリンピック・パラリンピック推進本部会議・副本部長挨拶】

＜舛添知事＞

- ・開会式では、例えば全国の全地域から浴衣を着てもらおう、全地域の和太鼓でパーカッションをやる、全地域の風呂敷をグラウンドに敷く、それぞれの夏祭りを集うなど、日本文化とはこういうものだということをぜひやっていきたい。オールジャパンの場がまさに開会式であり、閉会式であると思っている。また、観光や多言語対応についても皆で協力して一生懸命取り組んでいきたいと思う。オリンピック・パラリンピックは国家的な大事業であり、デフレなどで暗かった日本が明るい方向に転換する絶好のチャンスがきていると思うので、皆様方と協力しながらオールジャパンで取り組んでいきたい。

